

若ママ応援！[若年妊娠支援促進事業] / 社会全体で子どもを育む[社会的養護と自立支援]



沖縄県は10代女性の出生率が、全国平均の2倍！
本県における10代女性の出生率は1・3%で、全国の0・6%と比較すると2倍以上※にあります。

10代で妊娠・出産した女性（若ママ）を支え、その自立を応援する県の取組は、令和4年度からスタートしました。

これまで行つたアンケート調査では、市町村担当者の

10代で妊娠・出産した女性（若ママ）を支え、その自立を応援する県の取組は、令和4年度からスタートしました。

10代で妊娠・出産した女性（若ママ）を支え、その自立を応援する県の取組は、令和4年度からスタートしました。

1 こどもに寄り添う 給付型奨学金



児童養護施設などを退所し、進学を希望する場合に、入学金や授業料を無償で給付し、夢の実現に向けた学びの機会を保障。



2 普通自動車運転免許 取得費用の一部免除

県内21の指定自動車学校が、公費助成ではなく独自に取得費用の一部を免除。児童養護施設や里親、ファミリーホームで生活している高校3年生が対象。

3 社会的養護自立 支援拠点事業



社会的養護経験者が気軽に立ち寄れる交流の場。生活・就労・人間関係など幅広い相談に対応。関係機関と連携し、地域全体で子どもの未来を支える。



アフターケア
相談室
ホームページ

80%、分娩取り扱い医療機関の100%が、「若年妊娠婦の居場所は必要」と回答しました。また、当事者の意見を反映した支援を検討するため、直若年妊娠婦や同経験者に、直接意見を伺う機会を積極的に設けました。その中で、若ママたちの情報ルートはほぼSNSのみだという事実が判明したことから、インスタグラムのアカウントを開設し、い



※令和5年度
年人口動態統計

おきなわの若ママ
応援アカウント
Instagram
@oki_wakamama_ouen

ま届けたい情報を発信しています。
ぜひ一度、おきなわの若ママ応援アカウントにアクセスしてみてください！フォローもお待ちしています！

表紙

読者の声

（美ら島沖縄12月号）

「美ら島沖縄」のアンケートに回答いただいた内容から一部抜粋して掲載しています。アンケートについては10ページをご覧ください。

「美ら島沖縄」のバッケンバーは、県のホームページでご覧いただけます。



美ら島沖縄

沖縄県の地域外交について
● 沖縄の独自の行事の歴史を取り上げて
県がどんなことをしているのか、わ
りやすかった。県の取り組みで知らな
いことが沢山あるなど感じました。子供た
ちの学びや将来の夢にも繋がると思うの
でどんどん発信してください。

今後取り上げてほしい内容

● 沖縄の独自の行事の歴史を取り上げて
欲しいです。なぜ始まったのか、どうい
う流れで今の形になったのかなど、ムー
チ、トウシビー、13祝いなど起源を意
と知らない事も多いので知りたいです。

Fun Fan Local「与那国町」
● 去年の夏に初めて与那国島に行きました。すごく面白い島だったので、今回のト
リビアを読んでまた行きました。
県の動き4：スマホアプリでちょっととした
健康づくり
● オーロラアプリを取ろうか、迷つてしま
す。どんな事が出来るか、詳しく教えて
欲しくです。

● 「とよみ大橋？瀬底大橋？」と思い、県
内の橋をネットで探してみたり。空の色
がグラデーションで美しく目をひきます。



沖縄県 バス モノレール
バス通学費等支援

入学前申請
2/9月から

